

事業所名 子どもみらいサポートあくしす新長田

支援プログラム

作成日

令和 6 年

10 月

26 日

法人（事業所）理念		すべての方が陽気に輝ける未来を								
支援方針		一人ひとりの笑顔のために、お子さまとご家族がいつでも安心して過ごすことができ、やりたいことにチャレンジできるようサポート。そしてともに喜べる毎日を。を基本方針とし、「癒し」をテーマに支援を行います。								
営業時間		平日 土日祝	13 9 時	30 分	から	17 16 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	日常生活の支援の一環として食事、おやつ、手洗い、うがい、排泄、着脱など補助支援。 来所持には検温・バイタルチェック。 また、何よりも生命を維持し健康の保持を最優先し、保護者様・学校・病院と連携を図り、日々の健康状態の観察による本人の体調や安全面に十分配慮された介助と指導ならびに、ごくわずかな表情や仕草の変化を本人の意思表示として受け止める。 医療的ケアが必要な入所者には、医療職が必要な処置を行います。								
	運動・感覚	姿勢保持や運動と感覚遊び 補助道具などを使用し、歩行の練習などの支援。一人一人に合った動き。 またスヌーズレンの取入れとして、触って楽しむ遊び（グニユグニユのボールやスライムなど）や聞いて楽しむ遊び（音楽など）、アロマを使った癒しののにおい、見て楽しむ光（プラネタリウムなど）、力の入る感じを楽しむ遊び（トランポリンなど）で、経験を積み重ねていく支援をしていきます。								
	認知・行動	学びの習慣「認知・行動」 視覚や聴覚などから必要な情報を収集して認知機能への発達を促す支援。 絵やクイズなどから物や空間、数量、形の大きさや色などの認知の習得への支援。 排泄やのどの渇きなど必要なメッセージを選択して行動につなげる一連の認知過程の発達を促す支援。								
	言語 コミュニケーション	「言語・コミュニケーション」 あらゆる方法で意思の伝達ができるよう個別で方法を考え、伸ばしていき、ストレスを感じさせないよう支援をしていく。 行動の絵など補助代替コミュニケーションいわゆるAACを用いてコミュニケーションの幅をひろげる支援。								
	人間関係 社会性	集団生活適応訓練「人間関係・社会性」 重症心身障害児は個性を意識した活動が求められるため、基本的に集団活動の経験が得られにくい傾向があります。そこで、天気の良い日には散歩に出かけたり、ボランティア活動などを積極的に外出し、地域住民と触れあえる機会を提供していく方針です。職員と利用者という関係ではなくお互いが家族と思えるようなあたたかい支援。								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する困り事や心配事に対する相談援助を行って参ります。 安心して、本児を預けて頂けるよう事業所や家庭での様子をこまめに伝え合い密にやり取りを行うことで、より良い支援を目指しながら、本児にとって良い環境を整えられるような支援を行います。 ご家族のレスパイトニーズがある際には支援を行わせて頂きます。 保護者さん同士の交流の機会を設けます。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面でご本人の力が発揮できるよう、必要に応じて関係している機関と情報共有を行います。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域交流を行う。 関係機関との連携を図り、より良い支援へとつなげていきます。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> スタッフのモチベーションや質の向上ができるよう社内研修・外部研修・人事評価の明確化。スタッフ一人一人に応じて必要な研修や指導を行い、スキルアップや業務改善を図り、サービス品質向上につなげる。 		
主な行事等		遠足・あくしすカフェ（保護者対象）・レモネードスタンド（ボランティア活動）・夏祭りなど季節行事など								